

受講対象
高校生～

令和3年度
茨城エコ・カレッジ
(体験コース)

受講生 募集!

公開
期間

令和3年
10月7日(木)～11月15日(月)

環境問題についての興味を持ち、環境保全活動を進んで実践するリーダーを養成するため、茨城エコ・カレッジを開講します。

地球・地域、そして生活空間規模の問題やこれらに対する適応策等について、大学教員による講義を通じて楽しく学びましょう。

開催方法 オンデマンド配信(ご自宅等で受講いただけます。)

- 定員：100名(先着順) **受講費無料**
- 受講資格：茨城県内に在住、又は通勤・通学している高校生以上の方
- 申込：茨城大学リカレント教育プログラム・公開講座ホームページ内、専用フォーム(専門コース)よりお申込みください。
(<http://koukai.scc.ibaraki.ac.jp/>)
- 応募締切：令和3年10月31日(日)
- 主催：茨城県・茨城大学
- 問合せ先：茨城大学社会連携センター
(029-228-8413)



～注意事項～

- ※すべての講義がオンライン配信となります。動画を視聴可能なパソコン等が必要となりますので、ご注意ください。
- ※申し込み後、動画視聴ページにアクセスするためのパスワードをお送りいたします。パスワードがないと講義が受講できませんので、茨城大学社会連携センターからのメールは受信できるよう設定をお願いします。
- ※パソコン等で一部対応していない機種・OS等がございます。機器の問題等で受講できなかった場合は、本センターでは一切責任を負うことができませんので、ご了承ください。

令和3年度茨城エコ・カレッジ(体験コース)カリキュラム

修了要件：以下の①かつ②の要件を満たした受講者には、茨城県知事及び茨城大学長連名の茨城エコ・カレッジ2021(体験コース)修了証を交付します。茨城エコ・カレッジ2021(体験コース)を修了した受講者は、「茨城県地球温暖化防止活動推進員」に申し込むことができる資格が得られます。「茨城県地球温暖化防止活動推進員」の詳細については、茨城県ホームページ(<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/chikyu/ondanka-suishin.html>)をご覧ください。

①【講義】No.1～9の中から合計6講義以上を受講する必要があります。(レポート提出必須)

推奨講義については、必須ではありませんが、できるだけ受講してください。

②レポートを提出する必要があります。

※2021年以前に本事業を修了した方は申込できません。また、以前本事業を修了できなかった方は申込することはできますが、以前一部受講した講義があっても今回の講義との代替はできません。

【講義】動画公開期間 令和3年10月7日(木)～11月15日(月)

No.	動画時間	SDGs分野	講義名	講師 (茨城大学教員)
推奨	30分	ガイダンス (6. 水・衛生, 11. 都市, 13. 気候変動, 15. 陸上資源)	受講ガイダンス／環境問題を横串を通して見てみよう	藤田 昌史
	30分	総論 (6. 水・衛生, 11. 都市, 13. 気候変動, 15. 陸上資源)	太平洋小島嶼の環境問題	藤田 昌史
1	60分	15. 陸上資源, 14. 海洋資源, 11. 都市, 10. 不平等	SDGsを学ぶ前に、生物資源について考えてみる	阿部 信一郎
2	60分	13. 気候変動, 15. 陸上資源, 11. 都市	茨城県を対象とした環境保全のためのセンシング技術	桑原 祐史
3	60分	12. 生産・消費, 7. エネルギー, 1. 貧困, 10. 不平等	ファッションと循環型社会	木村 美智子
4	60分	17. 実施手段, 6. 水・衛生, 12. 生産・消費, 10. 不平等	環境 NPO・NGOの可能性～市民が守り、市民が創る環境～	原口 弥生
5	60分	13. 気候変動, 12. 生産・消費, 2. 飢餓	農耕地土壌における炭素と窒素の動態と作物生産	浅木 直美
6	60分	6. 水・衛生, 4. 教育, 13. 気候変動, 17. 実施手段	Web GISを駆使して茨城を眺めてみよう！	伊藤 孝
7	60分	15. 陸上資源	霞ヶ浦に生息する生物群集の長期変化とそれらの理由について	中里 亮治
8	60分	11. 都市, 13. 気候変動, 15. 陸上資源	自然災害と適応策～環境問題と脱炭素化社会への変革に向けて～	小林 薫
9	60分	13. 気候変動, 12. 生産・消費, 7. エネルギー, 3. 健康・福祉	21世紀の地球環境を考える	三村 信男

【環境保全活動フィールドワーク】実施日 令和3年11月6日(土) 13:30～14:30

No.	時間	環境保全活動フィールドワーク	フィールドワーク定員	場所
1	60分	身近な水質を見てみよう！～千波湖でのビオトープと水質の調査を通して環境を考える～	30名(先着順)	千波湖 (詳細はホームページをご確認ください。)

※天候や世情を鑑み、フィールドワークを中止する場合がございます。

※SDGsの分野について(以下の17分野より講師が講義内容に近い順に上記表に例示)

